

食肉衛生検査所だより

平成 30 年度

◆第3号◆



平成 29 年度廃棄状況

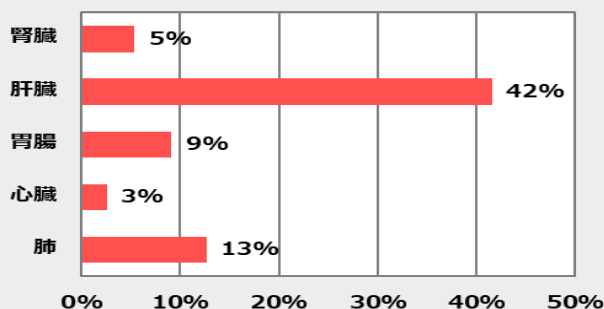
福岡市食肉衛生検査所では、平成 29 年度に牛を 21,737 頭、豚を 132,826 頭検査しました。そのうち、一部廃棄（病変部のみを廃棄すること）となった牛は 12,493 頭、豚は 92,341 頭でした。また、全部廃棄（一頭丸ごと全て廃棄すること）となった牛は 54 頭、豚は 108 頭でした。

●一部廃棄状況

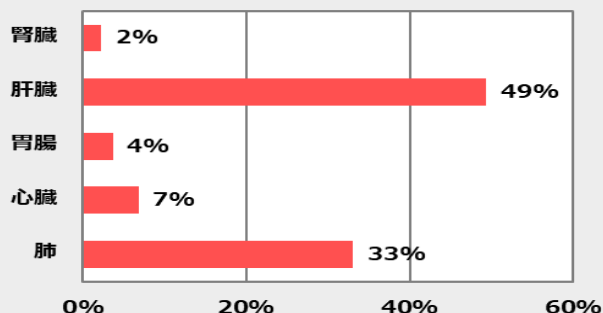
下の表は平成 29 年度に一部廃棄処分となった臓器の割合を示したものです。牛・豚ともに、肝臓の廃棄が一番多く、全検査頭数の 4 割以上に肝疾患が見つかりました。その次に多かったのは肺の病変でした。



牛の臓器別一部廃棄率



豚の臓器別一部廃棄率



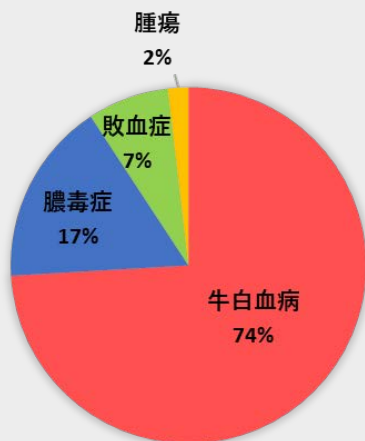
●全部廃棄状況

検査で重度の病気が見つかった場合は全部廃棄となり、その割合は牛では 400 頭に 1 頭、豚では 1200 頭に 1 頭ほどです。平成 29 年度に全部廃棄処分となった病気の割合を下図に示します。

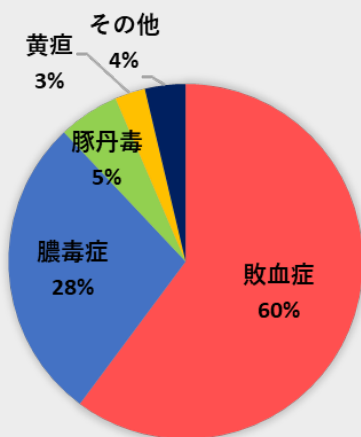
全部廃棄の理由のうち最も多い病気は、牛では牛白血病（40 頭）、豚では敗血症（74 頭）でした。膿毒症は牛・豚ともに全部廃棄理由で 2 番目に多い病気でした。



牛の全部廃棄理由



豚の全部廃棄理由



全部廃棄処分となる病気

- ・敗血症^{はいけつしょう}：体内に侵入した細菌が増殖した後、血液に乗って全身に回り引き起こす病気の総称です。心臓の状況病変や、複数の臓器に点状出血が認められます。牛・豚ともに全部廃棄となる病気のうち高い割合を占めています。
- ・膿毒症^{のうどくしょう}：化膿を引き起こす菌が傷口などから体内に侵入し、全身を回り、臓器や筋肉に複数の化膿病変を形成した状態をいいます。
- ・牛白血病：リンパ球の悪性腫瘍で、牛白血病ウイルスに感染した牛の数%が発症します。リンパ節の腫大や心臓、消化管などにできた腫瘍によって発見されます。人の白血病とは病原体が異なるため、人には感染しません。

福岡市食肉衛生検査

〒812-0055 福岡市東区東浜 2-85-14
TEL:092-651-3404 FAX:092-651-9015